

鍋屋バイテック(株)

関市・製造(一般機械器具)

従業員数/男性285名 女性163名 計448名 ※令和5年11月現在

エクセレント
POINT

- ①法を上回る時短勤務制度の導入など、従業員のWLBを支援
- ②日常的なコミュニケーションによる風通しの良い職場環境
- ③様々な仕組みで従業員のモチベーションアップ



公園に似ているかのような本社は「関工園」の名で親しまれ、敷地内にはコンサートホール、美術館などが入っている。

あり、日頃から密にコミュニケーションを取っている」と話す。また、育児中の従業員から希望の勤務時間を聞き取り、短時間勤務制度を拡充。従業員から「小学校にあがる子どもを見送ってから出勤したい」との要望を受け、時短勤務の利用期間を小学3年生まで認めた。

年次有給休暇取得の呼び掛けを積極的に行っているほか、年間の休日日数は130日に加え、9連休があるなど、休日日数も充実している。育児休業は最長で子どもが3歳になるまで取得でき、育児後の女性従業員は全員職場に復帰。男性従業員は配偶者の出産に立ち合う特別休暇が利用でき、開発部の吉田英史さんは「家族を大切にしよう会社から言われ、父親として出産に立ち会えた」と喜ぶ。

従業員を大切にする仕組みづくりに力を入れる。全従業員の誕生日と正社員の結婚記念日にはプレゼントを贈る。また、給与や賞与とは別の「大入袋」を贈る年もあり、従業員のモチベーション向上にもつながっている。



本社、敷地内にあるフィットネスジム。

鍋屋バイテックでは、従業員の要望を上司との面談やアンケートで把握しているが、統括部の大野見伊子部長代理は「日常的にいろいろな相談できる風通しの良さが社内

要望を気軽に話せる風通しの良さ